

小6

①

漢字忍法帖

名前

】

】

筋	収	針	就	晚	暮	痛	窓	供	並
筋筋筋筋筋筋 すじ・キン ⑫	収収収収 おさめる・シユウ 又④	針針針針針針 針針針針針針 金金金金金金 (10)	就就就就就就 就就就就就就 尤尤尤尤尤尤 (12)	晩晩晩晩晩晩 晩晩晩晩晩晩 日日日日日日 (12)	暮暮暮暮暮暮 暮暮暮暮暮暮 日日日日日日 (14)	痛痛痛痛痛痛 痛痛痛痛痛痛 病病病病病病 痛痛痛痛痛痛 痛痛痛痛痛痛 痛痛痛痛痛痛 (12)	窓窓窓窓窓窓 窓窓窓窓窓窓 窓窓窓窓窓窓 窓窓窓窓窓窓 窓窓窓窓窓窓 (11)	供供供供供供 供供供供供供 供供供供供供 供供供供供供 供供供供供供 供供供供供供 (8)	並並並並並並 並並並並並並 並並並並並並 並並並並並並 並並並並並並 並並並並並並 (8)
筋筋筋筋筋筋 すじ・キン ⑫	吸 きゅう	方 ほう	就就 しゅう 任職 しょく	今晩 こんばん ご飯 はん	暮 くらし	頭 ず	車窓 しゃそう	提 てい 給 きょう 供 きょう	並木 なみ 木 き

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小6

②

漢字忍法帖

名前

】

衛	劇	担	演	刊	沿	寄	俳	棒	腹
衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 エイ 行(16)	劇 剧 剧 剧 剧 剧 剧 剧 剧 剧 ゲキ リ(15)	担 担 担 担 担 担 担 担 担 担 タン オ(8)	演 演 演 演 演 演 演 演 演 演 エン シ(14)	刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 カン リ(5)	沿 沿 沿 沿 沿 沿 沿 沿 沿 沿 エン リ(8)	寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 そう・エン ヒ(11)	よる・キ ハイ イ(10)	棒 棒 棒 棒 棒 棒 棒 棒 棒 棒 ボウ 木(12)	腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 はら・フク月(13)
衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 えい 生 星 せい	演 劇 えん 劇 場 げきじょう	担 担 たんたん	演 出 えんしゅつ	朝 刊 ちようかん	沿 岸 えんがん	寄 付 きふ	俳 句 はい	鉄 棒 てつぼう	中 腹 ちゆうふく

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小6

(3)

名前

漢字忍法帖

】

頂	貴	密	障	宝	眼	乳	激	疑	旧
頂 頂 頂 頂 頂 チヨウ チヨウ チヨウ チヨウ チヨウ	貴 貴 貴 貴 貴 キヨウ キヨウ キヨウ キヨウ キヨウ	密 密 密 密 密 ミツ ミツ ミツ ミツ ミツ	密 密 密 密 密 ミツ ミツ ミツ ミツ ミツ	障 障 障 障 障 ショウ ショウ ショウ ショウ ショウ	寶 宝 宝 宝 宝 ボウ ボウ ボウ ボウ ボウ	眼 眼 眼 眼 眼 ガイ ノコギルガイ ノコギルガイ ノコギルガイ ノコギルガイ	乳 乳 乳 乳 乳 ル ル ル ル ル	激 激 激 激 激 ゲキ ゲキ ゲキ ゲキ ゲキ	疑 疑 疑 疑 疑 ゲイ ハゲイ ハゲイ ハゲイ ハゲイ
(11)	(12)	(11)	(11)	(8)	(11)	(8)	(16)	(14)	(5)
山の頂 ひつじゆん やまのうへ	頂上 ていねい チヨウジョウ	貴族 ちようぞく	精密 みつけい	障子 じょうじ	財物 ざいもの	眼科 がんか	母乳 ぼにゅう	激感 げきかん	半信 はんしん
									旧式 きゅうしき

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小6

④

名前

漢字忍法帖

】

納	論	縱	砂	吸	呼	著	映	危	亡
納 納 納 納 納 納 納 納 納 納 納 納 (10)	おさめる 論 論 論 論 論 論 論 論 論 論 (15)	ロン (16)	縦 縦 縦 縦 縦 縦 縦 縦 縦 縦 縦 (16)	たて・じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅう (16)	砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 (9)	すな・さ (9)	吸 吸 吸 吸 吸 吸 吸 吸 吸 吸 吸 (6)	キユウ・スウ (6)	呼 呼 呼 呼 呼 呼 呼 呼 呼 呼 (8)
收 納 納 稅	結 議 議	縱 縱 縱 縱	砂 砂 砂 砂	吸 吸 吸 吸	呼 呼 呼 呼	著 著 著 著	映 映 映 映	危 危 危 危	亡 死 命 亡
納 稅	論 論 論	書 書 書 橫	場 金 金	呼 吸 吸 吸	呼 吸 吸 吸	者 著 著 著	像 画 画	機 险 险	死 命 亡

正しい筆順で丁寧にゆっくり書きこう!!

小6

⑤

名前

漢字忍法帖

】

簡	紅	磁	骨	垂	巖	詞	衆	段	陛
簡 簡 簡 簡 簡 簡 簡 簡 (18)	紅 紅 紅 紅 紅 紅 紅 紅 (9)	磁 磁 磁 磁 磁 磁 磁 磁 (14)	骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 (10)	垂 垂 垂 垂 垂 垂 垂 垂 (8)	巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 (17)	詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 (12)	衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 (12)	段 段 段 段 段 段 段 段 (9)	陛 陛 陛 陛 陛 陛 陛 陛 (10)
簡 簡 口 潔 單 (18)	紅 紅 茶 紅 茶 (14)	磁 磁 力 石 折 骨 (10)	骨 骨 鐵 石 骨 骨 (10)	垂 垂 直 直 直 直 直 直 (8)	巖 巖 重 守 詞 詞 詞 詞 (17)	動 歌 詞 詞 詞 詞 詞 詞 (12)	大 衆 段 落 階 段 段 落 (12)	陛 陛 陛 陛 陛 陛 陛 陛 (10)	

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小6

(6)

名前

漢字忍法帖

」

射	割	策	探	視	覽	盛	層	幼	勢
射 射 射 射 射 射 射 射 射 射 射	割 割 割 割 割 割 割 割 割 割 割	策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 策	探 探 探 探 探 探 探 探 探 探 探	視 視 視 視 視 視 視 視 視 視 視	覽 覽 覽 覽 覽 覽 覽 覽 覽 覽 覽	盛 盛 盛 盛 盛 盛 盛 盛 盛 盛 盛	層 層 層 層 層 層 層 層 層 層 層	幼 幼 幼 幼 幼 幼 幼 幼 幼 幼 幼	勢 勢 勢 勢 勢 勢 勢 勢 勢 勢 勢
しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ しゃ	わり わり わり わり わり わり わり わり わり わり わり	さく さく さく さく さく さく さく さく さく さく さく	さかす さかす さかす さかす さかす さかす さかす さかす さかす さかす さかす	シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ	ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン ラン	四(11) 四(11) 四(11) 四(11) 四(11) 四(11) 四(11) 四(11) 四(11) 四(11)	もる もる もる もる もる もる もる もる もる もる もる	ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ ソウ	戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14) 戸(14)
放發 射射	役割 割合	対策 決策	解けつ けつ	探檢 けん	視界 かい 点 てん	回覽 かい らん	大盛り おおも	高地 こう 層 そう	幼稚 よう 虫 じゅう
ひつじゅん ていねい									

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小6

7

漢字忍法帖

名前

】

潮	蒸	暖	難	討	優	穴	熟	拡	尊																
潮 潮 潮 潮 潮 潮 潮	蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸	ジ ヨウ ウ 日 15	暖 暖 暖 暖 暖 暖 暖	暖 暖 暖 暖 暖 暖 暖	難 難 難 難 難 難 難	難 難 難 難 難 難 難	むずか しい い ナ ン 佳 18	討 討 討 討 討 討 討	討 討 討 討 討 討 討	ト ウ き 10	優 優 優 優 優 優 優	優 優 優 優 優 優 優	ユ ウ イ 17	穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴	穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴	あな 穴 5	熟 熟 熟 熟 熟 熟 熟	熟 熟 熟 熟 熟 熟 熟	じゅく ク .. 15	拡 拡 拡 拡 拡 拡 拡	拡 拡 拡 拡 拡 拡 拡	カ ク オ 8	尊 尊 尊 尊 尊 尊 尊	尊 尊 尊 尊 尊 尊 尊	そんたつ とくどう いとうぶ なつぶ とうふ たうぶ す 12
風 満	蒸 蒸	暖 温	難 災	檢 討	優 勝	穴 が 空 く	完 熟	拡 張	尊 命																
潮 潮	發 氣	冬 暖	問 難	討 論	勝	あ	か ん じゆく 語	か く だい	そん い けい																

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

ひつじゆん

ていねい

小6

(8)

漢字忍法帖

名前

】

座	刻	否	胸	訪	政	縮	専	樹	城
座 座 座 座 座 座	ザ 刻 刻 刻 刻 刻 刻	コク・キざむ コク・キざむ コク・キざむ コク・キざむ コク・キざむ コク・キざむ	否 否 否 否 否 否	ヒ 口 月	胸 胸 胸 胸 胸 胸	胸 胸 胸 胸 胸 胸	訪 訪 訪 訪 訪 訪	訪 訪 訪 訪 訪 訪	城 城 城 城 城 城
座 座 座 座 座 座	广 ⑩	リ ⑧	口 ⑦	月 ⑩	ムネ・キヨウ 言 ⑪	セイ 久 ⑨	シユク・チチム 糸 ⑯	ジユ 木 ⑯	しろ・ジョウ ナ ⑨
正 座	深 座	時 席	安 刻	否 刻	否 定	度 胸	来 訪	政 政	城 下
									城 町

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小6

⑨

名前

漢字忍法帖

】

姿	枚	模	忘	展	背	裏	拝	机	警
姿 姿 姿 姿 姿 姿・シ女⑨	枚 枚 枚 枚 枚 木⑧	模 模 模 模 模 木⑭	忘 忘 忘 忘 忘 わ れる 心⑦	展 展 展 展 展 テ ン 展	背 背 背 背 背 セ ン 背	裏 裏 裏 裏 裏 う ら 裏	拝 拝 拝 拝 拝 ハイ ・お が む オ ⑧	机 机 机 机 机 機 ⑥	警 警 警 警 警 ケイ 警 言 ⑯
容姿 姿勢	枚二 数枚	模規 様模	忘宿題を れる	発展 展示	背背 中景	裏側	参拝 拝見	机に向 かう	警告 官

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

ひつじゅん

ていねい

四字熟語忍法帖 テスト

①

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
一 日	一 心	前 機	危 機	自 自	肉 食	絶 絶	前 代	信 疑	応 変	問題
待ち遠しくて、一日が千年にも思えるほど、時間のたつのがおそらく感じられること。	二人以上の人があること。ようになること。	今までに比べられる例が一度もなく、これがわざること。先も二度と同じような例は起こらないと思なこと。	髪の毛一筋ほどの違いで危険なめにあいそうなこと。	自分で自分のしたことをほめる」と。	弱いものをきせいにして、強いものが栄えること。	どうしても逃れる方法のない困難な立場にあること。	これまでいちども耳にしたことがないような、めずらしい、かわったこと。	なかば信じ、なかば疑うこと。ほんとうかうそか、判断に迷うこと。信じきれない状態。	時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。	意味
		後								

四字熟語忍法帖 テスト

(2)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		問題	意味
氣	一 部	世	心	死	自 人	電	變	發	中			
合		代	理	生	自	火	化					
考え方などが一致して、気持ちがぴったり合うこと。	物事の始めから終わりまで全部。	一生のうちでもこれがいちばんという、はなばなしのおこないをすること。	群がり集まつたために生じた、ふだん一人のときとは異なる特別な心理状態。多くの場合、気持ちが高ぶり、他の行動にひきずらくなってしまう。ふつうではできないよ	死にかかつていた病人を生き返らせること。非常に悪い状態からよい状態へ立ち戻らせる	食物や衣服など、自分が生きていくのに必要なものを自分で生産し、用を達すること。	好みや考えが人それに違うこと。	きわめて短い時間。とてもすばやい行動。	ものごとの変化の多いこと。場面や事件がつづきと変わっていくこと。	発射すれば必ず命中すること。予想や計画がいつも思つたとおりに実現すること。			

四字熟語忍法帖 テスト

(3)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
異 同	一 望	一 二	右 左	公 平	苦 苦	選 択	大 器	二 三	言 実	問題
多くの人々が口々に同じことを言うこと。多 数の意見が一致すること。	見渡す限り、広々としている様子。	一つのことをして、二つの利益や効果を上 げること。	まとまりなくあちこちへ動き、うろたえ混 乱するようす。	一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲 心のないこと。	求めめる心がないこと。えこひいきせず、私 かいる人は、若いころは目立たず、年をとつて から大成するということ。	いくつかのなかから、よいもの、必要なもの を選び出して、悪いもの、不必要なものを捨 てるのこと。	ひとがらや才能のスケールが大きく、優れて いる人は、若いころは目立たず、年をとつて から大成するということ。	数が多くても値段が非常に安いこと。	あれこれ言わずに、よいと思うことやするべ きことを、だまつて実行すること。	意味

四字熟語忍法帖 テスト

④

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

問題

意味

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
雷	進	同	一	自	言	正	一	温	心	
同	歩	異	転	自	道	大	一	知	心	
自分の考え方を持たないで、人の意見にいいかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動する」と日に日に、驚くほどのはやさで進歩する」と	小さなちがいはあるが、おおよそのところは同じであること。大差のないこと。	あることをきっかけとして、心がけが、がらりと変わつて、望ましい方へ向かうこと。	自分が悪いことをしたために、よくない報いを受けること。	言葉も出ないほど、まったくひどいこと。あきれで言葉も出ないこと。	公平で、不正やかくじ」とがなく、少しの私心もないこと。	ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。	昔のことを訪ねもとめ、そこから新しい知識を得ること。	だまつっていてもたがいに心が通じること。		

四字熟語忍法帖 テスト

(5)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	問題
一	一	一	五 里	七 八	小 棒	单 直	馬 耳	無 我	有 無	意味
一生の間にただ一度出会うこと。生涯に一度限り。	一つのことをして、二つの利益を得ること（「一石二鳥」）	長所もあり、短所もあること。	五里四方に広がつた霧の中にいるようになすこと。すっかり迷つて、どうしてよいかわからぬ	何度も失敗してもくじけずに立ち上がって努力をつづけること。	ちょっととしたことをおおげさに彌うこと。	前置きなどなしに、直ちに本題に入ること。	人の意見や忠告をいつこうに気にかけないと。	あることに熱中して、我を忘れること。	広く知られているが、名ばかりで、実際の中身や性質がともなっていないこと。	身や性質がともなっていないこと。

四字熟語忍法帖 テスト

(6)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
三	差	耕	楚	々	三	完	応	一	引	問題
四	別	読	歌	々	四	全	報	一	水	意味
まことに先の違いにこだわって結果が同じになること。よく話が付かないこと。また、言葉の上だけでもして他人をだましたり、ばかにしたりする	多くのものがそれぞれ違つていてこと。	晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。転じて世間のわざらわしさをはなれ、のんびりと自由に生活すること。	まわりがみな敵となり、孤立すること。	三人、五人と、少人数が連れ立つて行動するようす。	三日間くらいい暖かい日がつづき、そのあと四日にかけての気候。	過去および前世の行為の善悪に応じて、報いが過ること。	完全で、少しも不足するところがない。	状態や情勢がよくなつたり悪くなつたりすることが繰り返されること。	自分の都合のいいように考えたり、したりすること。	

四字熟語忍法帖 テスト

(7)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
模 索	一 言	一 言	一	枯	共	玉	試 問	吳 越	岡 八	問題
			金	衰	共	混				意味
暗闇の中を手さぐりするように、当てのない、 ままに手あたりしだいにやつてみること。 うるさがたのひと。	何についても一言も言わずにはいられない、 わざかな言葉。	春の夜の素晴らしさは一刻が千金にも値す る。楽しいときや大切なときが早く過ぎるの を惜しむ気持ちで言う。	栄えたり、おとろえたりすること。	同じところで生き、ともに栄えること。	すぐれたものと劣ったものが入り混じっていること。	敵と味方が同じ場所にい合わせること。	口で述べて答える形の試験。	がやつている人より、わきで見ている人のほう 、ものごとのよい悪いがよくわかること。		

四字熟語忍法帖 テスト

(8)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
攫	騎	花 鳥	竜	勸 懲	承	喜 満	疑	質 剛	縱 尽	問題
金	千		晴		結		鬼			意味
一度にやすやすと大きな利益を得ること。	ひとりで千人の敵を相手にできるくらい強いこと。	自然の美しい景色を花・鳥・風・月に代表させた言葉。	物事を完成させるための大変な最後の仕上げ。また、わずかな配慮から全体が引き立つこと。たとえ。	善行を勧め、悪行をこらしめる考え方。	漢詩の一形式である絶句の組み立て方。一般に、文章やものごとを組み立てる順序を表す。	喜びの表情が顔いっぱいにひろがること。	疑いの姿を見たりするように、何でもないといまい手なところがなくまじめで、強くたくましいこと。	行動がまわりのものや人にさまたげられないで、自由に広い範囲におよんでいること。		

四字熟語忍法帖 テスト

(9)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
拳	末	羅	磋	前	徹	天	奔	破	問題	
動	節	琢	琢	後	令	異	走	笑	意味	
こまかいひとつひとつの動作やふるまい。	本筋にかかわりのない、つまらない小さなこと	宇宙に存在する、すべてのもの。	同じことを志す者どうしがたがいにはげまし	酒によつたり、ねむけのために、そのときの前後のこと。まつたくわからないほど正体がなくなること。	朝に出した命令を夕方には改めること。命令や法令が出されたと思うとすぐに行われたりによりにならないこと。	はじめから終わりまで、考え方ややり方が変わらないようす。	日食や月食、暴風や台風、落雷、地震など、自然界に起きる異変。	あちこちに忙しくかけまわること。	顔をほころばせて、につこり笑うこと。	

四字熟語忍法帖 テスト

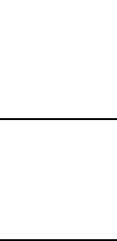
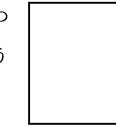
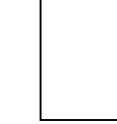
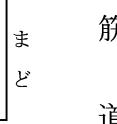
⑩

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
全 靈	未 踏	名 分	不	平 身	傍 若	転 倒	遊 山	劣 敗	大 敵	問題
からだとこころすべて。 その程度や境地に、それまでだれも行きつい てしないこと。	堂々とだれにでも説明できる理由。 人として守らなければならない根本的な道。	眠りも休みもしないでしつづけること。 身をかがめ、頭を深く下げる、ひたすらあや まること。	人がいるのに、あたりに人がいないかのよう に勝手気ままにふるまうこと。	見物をしたり、山野に出かけて遊んだりする こと。	生存競争で強者が栄え、弱者がほろびるこ と。ものごとの大事なことと、どうてもいいこと が、あべこべになること。	気をゆるして注意をおこたると思わぬ失敗を すること。	するので、油断はおそろしい敵であるという	こと。	と。生き残りのための戦い。	意味

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|-------|---|---|-----------|
| ⑩ 会社に | ⑨ ばん | ⑧ つう | ⑦ く | ⑥ まど | ⑤ まど | ④ 針と糸 | ③ 成功を | ② 桜並木 | ① お供え物をする |
|  |  |  |  |  |  | |  |  | |
| する | しゅう
しょく | が走る | れる | の外をながめる | をたてて話す | | 収める | | |
| する | しゅう
しょく | ご飯を作る | れる | | | | | | |

1問10点

日付

コメント；

点

- | | | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------|
| ⑩ 新聞を持ち | ⑨ まつすぐな | ⑧ 週 | ⑦ はら | ⑥ げき | ⑤ 仕事を | ④ 計画に | ③ 衛星 | ② 俳句 | ① 人形げきの公演 |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> かん | <input type="text"/> が | <input type="text"/> の練習 | <input type="text"/> 分担 | <input type="text"/> 沿つた行動 | <input type="text"/> 放送 | <input type="text"/> をよむ | <input type="text"/> |
| る | よ | 紙を買う | すく | | する | | | | |

1問10点

日付

コメント；

点

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
き な 然 に あ る	き ち よ う に あ る	し ょ う じ に 穴 が 空 く	活 や く に す る	ぎ か ん げ き す る	乳 を 吸 う 子 犬 が あ る	自 然 の 寶 庫 が あ る	密 接 な 関 係 と 再 会 す る	旧 友 と 再 会 す る	眼 科 の 先 生 と 再 会 す る

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 本の
ちよ
しや
が合
う
- ⑨ 二人の
けつ
ろん
を出
す
- ⑧ けつ
 ろん
- ⑦ たて
 き
- ⑥ き
い
つ
ぱ
つ
- ⑤ 友達を
き
ぶ
- ④ 砂場で遊ぶ
さ
ば
う
- ③ 鏡に姿が
き
あ
る
- ② キヨウリュウの滅亡
き
よ
り
ゅ
う
め
る
- ① 商品を納める
し
ま
る

1問10点

日付

コメント；

点

- | | | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| ⑩ | ⑨ | ⑧ | ⑦ | ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ほ
ね | だ
ん | 天
皇 | ぶ
どう | 文
中 | き
び | 簡
潔 | ア
メ
リ
カ | 磁
石 | う
す |
| が
折
れ
る | の
内
容 | ら
く | の
実 | の
中 | し
い | に
記
す | 合
衆 | が
北
を
指
す | 紅
色 |
| | | へ
い | が | さ | 寒 | | 国 | | の
空 |
| | | か | | <input type="text"/> | た | | | | |
| | | | | れ
る | | | | | |

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ その他
季語を
季語を
りこむ
りこむ
- ⑨ も
も
- ⑧ を立てる
を立てる
- ⑦ 図書館で本を
たい
さく
- ⑥ い弟をあやす
おさな
が
- ⑤ 直射日光
おさな
日光
- ④ 視覚にうつたえる
視覚にうつたえる
- ③ 広い階層の人々
広い階層の人々
- ② 割合を求める
割合を求める
- ① 先生がご覧になる
先生がご覧になる

1問10点

日付

コメント；

点

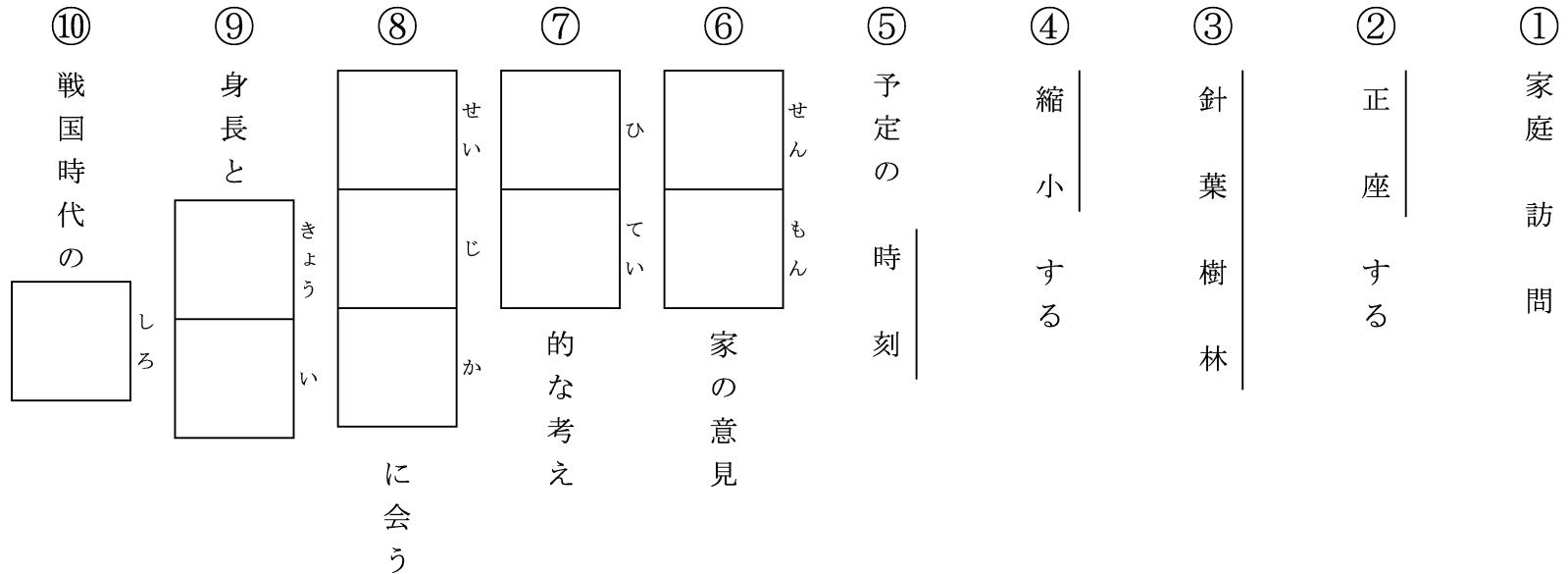
⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
じょう き	とう ろん かい	あな を 空 け る	おん だん	むずか し い 言 葉	優 先	拡 大	四 字 熟 語	尊 い 命 を 失 う	潮 の 流 れ
機 関 車		な 気 候			課 題	して 見 る			

1問10点

日付

コメント；

点



1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ けい お手紙を せ き うら 机 | 町が
けい ほう はい せ き うら におく 発 |
器が鳴る はい けん ば ぼ 姿 | 展 |
する する
- ⑨ お手紙を せ き うら 机 | 町が
ほう はい せ き うら におく 発 |
する する
- ⑧ の高さを計る が 大きい | ④ 机 | 町が
の 高さを 計る が 大きい | におく 発 |
き ぼ ぼ 姿 | 展 |
- ⑦ うら の菜園 が 大きい | ③ 町が ② 六枚の絵
うら の 菜園 が 大きい | 発 | 展 |
き ぼ ぼ 姿 | する
- ⑥ うら の菜園 が 大きい | ① つかれを忘れる
うら の 菜園 が 大きい | する

1問10点

日付

コメント；

点

- | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------|-----------------------------------|--------------------------|-----------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------|
| ⑩
画像
が

れる | ⑨

みだ

三角形 | ⑧

に行
く | ⑦

おん
せん

の本をさしあげる | ⑥

わたくし

で話す | ⑤

けい

公園 | ④

犯人

を知る | ③

存
在

感 | ②

バス
を

降りる | ①

運動会の
翌日 |
|------------------------|------------------------|------------------|-----------------------------------|--------------------------|-----------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------|

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 晚 ばん
会社に
- 就職 しゅうしおく
する
- ⑨ 痛 つう
ご飯を作る
- 激 つく
が走る
- ⑧ 日暮 ひぐれ
がれる
- ⑦ 窓 まど
の外をながめる
- ⑥ 筋道 すじみち
の外をながめる
- ⑤ 針道 はりど糸
をたてて話す
- ④ 成功 おさめ
を収める
- ③ 並木 なみき
と糸
- ② 桜 さくら
並木
- ① お供そな
え物をする

1問10点

日付

コメント；

点

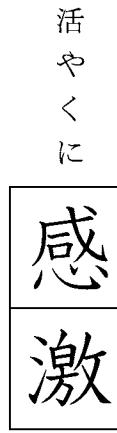
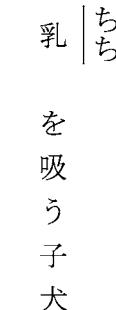
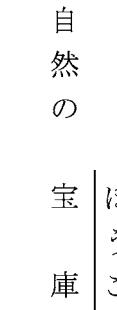
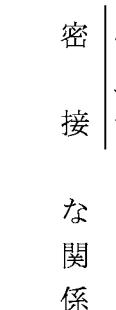
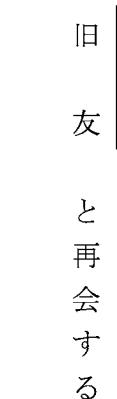
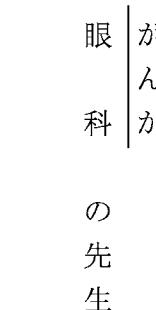
- ⑩ 新聞を持ち
新聞を持ち
- ⑨ まつすぐな
まつすぐな
- ⑧ 週刊
週刊
- ⑦ 腹がすく
腹がすく
- ⑥ 剧の練習
劇の練習
- ⑤ 仕事を分担する
仕事を分担する
- ④ 計画に沿つた行動
計画に沿つた行動
- ③ 衛星放送
衛星放送
- ② 俳句をよむ
俳句をよむ
- ① 人形げきの公演
人形げきの公演
- 寄る** よ **棒ぼう**

1問10点

日付

コメント；

点

⑩  貴重	⑨  繁栄の絶頂	⑧  障子	⑦  活やくに感激する	⑥  疑問点	⑤  乳を吸う子犬	④  自然の宝庫	③  密接な関係	②  旧友と再会する	①  眼科の先生
--	---	--	--	---	---	---	---	---	---

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 本の著者 ⑨ 二人の呼吸 ⑧ 結論 ⑦ 縱書きのノート ⑥ 危機 ⑤ 友達を呼ぶ ④ 砂場で遊ぶ ③ 鏡に姿が映る ② キヨウリュウの滅亡 ① 商品を納める
- ちよしや
けいきゅう
けつろん
たてのふくのノート
きき
き
きよ
よ
すなば
よ
う
う
おさ
め
ぼう
- 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 骨 ほね
が折れる
- ⑨ 段だん
の内容らく
- ⑧ 天皇へい
陛下か
- ⑦ ぶどうの実が
巖きび
しい寒さ
- ⑥ 垂た
れる
- ⑤ 文中の
動詞
- ④ 簡潔かんけつ
に記す
- ③ アメリカ合衆国
が北を指す
- ② 磁石じしゃく
が北を指す
- ① うす紅色べにいろ
の空

1問10点

点

コメント；

日付

- ⑩ その他
季語を
- ⑨ 盛りこむ
- ⑧ 対策たいさく
図書館で本を立てる
- ⑦ 幼い弟をあやす
- ⑥ 探す
- ⑤ 直射ちよくしや
日光
- ④ 視覚しかく
にうつたえる
- ③ 広い階層かいそう
の人々
- ② 割合わりあい
を求める
- ① 先生がご覧になる

1問10点

日付

コメント；

点

⑩ 蒸氣	⑨ 討論	⑧ 穴を空ける	⑦ 溫暖な気候	⑥ 難しい言葉	⑤ 優先課題	④ 拡大して見る	③ 四字熟語	② 尊い命を失う	① 潮の流れ
機関車	じょうき きろん かい	とうろん をくうけ る	あな をくうけ る	おん なき だん あ な だん	むずか しい ごんご せん	ゆうせん かくだい だい	かくだい して くわん	じゅくご いめいを くわん	しお の れ

1問10点

日付

コメント；

点

⑩ 戦国時代の城	⑨ 身長と胸	⑧ 政治	⑦ 否定	⑥ 専門	⑤ 予定の時刻	④ 縮小する	③ 針葉樹林	② 正座する	① 家庭訪問
しろ 城	きょう 胸	せい 治	ひ 否	せん 門	じごく 時刻	しゅくしよう 縮小する	しんようじゅりん 針葉樹林	せいざ 正座する	ほうもん 家庭訪問

に会う 的な考え方 家の意見

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 警報 けいほう
けい ほう
器が鳴る
- ⑨ お手紙を拝見 はいけん
けい ほん
する
- ⑧ 背の高さを計る せのかさをそなへる
せ かさ そなへる
- ⑦ 規模 きぼ
き ぼ
が大きい
- ⑥ 裏の菜園 うらのさいえん
うら ぼ
の うら
- ⑤ 父の歩く姿 すがた
ちち の あゆみ
父の歩く姿
- ④ 机におく つくえにおく
つくえ おく
におく
- ③ 町が発展 はつてん
まち が はつてん
まち が はつてん
する
- ② 六枚の絵 ろくまいのえ
ろく まい
の え
の え
の え
- ① つかれを忘れる わすれる
つかれを 忘れる
わす れる

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 逆 ぎやく
画像が みだ
乱 みだ
れる
- ⑨ 温泉 おんせん
三角形 さんかくけい
に行く いく
- ⑧ 私 わたくし
の本をさしあげる
の ほんを さし あげる
- ⑦ 敬語 けいご
で話す はなす
- ⑥ 遺跡 いせき
公園 こうえん
- ⑤ 犯人 はんにん
を知る しのぶ
- ④ 存在 そんざい
感覚 かんかく
がある あつまる
- ② バスを降りる おりる
お
- ① 運動会の翌日 よくじつ

1問10点

日付

コメント；

点

四字熟語忍法帖

①

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
問題										意味
一日千秋	一心同体	空前絶後	危機一髪	自画自贊	弱肉強食	絶体絶命	前代未聞	半信半疑	臨機応変	時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。
待ち遠しくて、一日が千年にも思えるほど、時間のたつのがおそらく感じられること。	二人以上の人間が心を一つにして、一人の人間のようになること。	今までに比べられる例が一度もなく、これら先も二度と同じような例は起こらないと思われること。	髪の毛一筋ほどの違いで危険なめにあいそつなこと。	自分で自分のしたことをほめること。	弱いものをきせいにして、強いものが栄えること。	どうしても逃れる方法のない困難な立場にあること。	これまでいちども耳にしたことがないよう	なかなか信じ、なかば疑うこと。ほんとうかうそか、判断に迷うこと。信じきれない状態。	前代未聞	時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。

四字熟語忍法帖

(2)

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
										問題
										意味
意氣投合	一部始終	一世一代	群集心理	起死回生	自給自足	十人十色	電光石火	千変万化	百發百中	ひやつぱつひやくちゅう
考え方や好みなどが一致して、気持ちがぴったり合うこと。	物事の始めから終わりまで全部。	一生のうちでもこれがいちばんという、はなばなしのおこないをすること。	群がり集まつたために生じた、ふだん一人のときとは異なる特別な心理状態。多くの場合、気持ちが高ぶり、他人のことまでしゃべりやすくなる。ひきずられて、ふつうではできないよ	死にかかっていた病人を生き返らせること。	食物や衣服など、自分が生きていくのに必要なものを自分で生産し、用を達すること。	好みや考えが人それぞれに違うこと。	きわめて短い時間。とてもすばやい行動。	ものごとの変化の多いこと。場面や事件がつぎつぎと変わっていくこと。	発射すれば必ず命中すること。予想や計画がいつも思つたとおりに実現すること。	

四字熟語忍法帖

(3)

名前

問題	意味									
不言実行 にそくさんもん	あれこれ言わずに、よいと思うことやすることを、だまつて実行すること。	ふげんじつこう	にそくさんもん	二束三文 にそくさんもん	数が多くても値段が非常に安いこと。	ふげんじつこう	にそくさんもん	大器晩成 たいきばんせい	ひとがらや才能のスケールが大きく、優れてから大成するということ。	しゅしゃせんたく
四苦八苦 しきはつく	非常に苦しむこと。苦労の連続であること。	しきはつく	四苦八苦 しきはつく	取捨選択 しゆしやせんたく	ひとがらや才能のスケールが大きく、優れてから大成するということ。	たいきばんせい	大器晩成 たいきばんせい	二束三文 にそくさんもん	数が多くても値段が非常に安いこと。	ふげんじつこう

多くの人々が口々に同じことを言うこと。多くの意見が一致すること。

異口同音
いくどうおん一望千里
いちばうせんり一石二鳥
いつせきにちょう右往左往
うおうさおう公平無私
こうちへいむし四苦八苦
しきはつく

非常に苦しむこと。苦労の連続であること。

取捨選択
しゆしやせんたく

一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲心のないこと。

一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲心のないこと。

公平無私
こうちへいむし

まとまりなくあちこちへ動き、うろたえ混乱するようす。

一つのことをして、二つの利益や効果を上げること。

見渡す限り、広々としている様子。

右往左往
うおうさおう一望千里
いちばうせんり

多くの人々が口々に同じことを言うこと。多くの意見が一致すること。

④

四字熟語忍法帖

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
付和雷同 ふわらいどう	日進月歩 にっしんげっぽ	大同小異 だいとうしょうい	心機一転 しんきいってん	自業自得 じぎょうじとく	言語道斷 ごんごうどうだん	公明正大 こうめいせいだい	一朝一夕 いつちよういつせき	温故知新 おんこちしん	以心伝心 いしんでんしん	問題 問 題

意味

昔のことを訪ねもとめ、そこから新しい知識を得ること。 。

だまつていてもたがいに心が通じること。

ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。

公平で、不正やかくしげ」とがなく、少しの私心もないこと。

ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。

言葉も出ないほど、まつたくひどいこと。あきれて言葉も出ないこと。

自分が悪いことをしたために、よくない報いを受けること。

あることをきっかけとして、心がけが、がらりと変わつて、望ましい方へ向かうこと。

小さなちがいはあるが、おおよそのところは同じであること。大差のないこと。

自分のかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動すること。

自分の考え方を持たないで、人の意見にいいかこと。

四字熟語忍法帖

(5)

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	問題	意味
一期一会 いちごいちらい	一挙両得 いつきよりようとく	一長一短 いつちょういつたん	五里霧中 ごりむちゆう	七転八起 しちてんはつき	針小棒大 しんしょうぼうだい	單刀直入 たんとうちょくにゅう	馬耳東風 ばじとうふう	無我夢中 むがむちゅう	有名無実 ゆうめいむじつ	身や性質がともなつていないこと。 広く知られているが、名ばかりで、實際の中	あることに熱中して、我を忘れること。
限り。 一生の間にただ一度出会うこと。生涯に一度	一つのことをして、二つの利益を得ること （「一石二鳥」）	長所もあり、短所もあること。	五里四方に広がった霧の中にいるように、すっかり迷つて、どうしてよいかわからないこと。	何度も失敗してもくじけずに立ち上がって努力をつづけること。	ちょっととしたことをおおげさに言うこと。	前置きなどなしに、直ちに本題に入ること。	人の意見や忠告をいつこうに気にかけないこと。	と。	廣く知られているが、名ばかりで、實際の中	あることに熱中して、我を忘れること。	あることに熱中して、我を忘れること。

四字熟語忍法帖

⑥

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
										問題
										意味
朝三暮四	ちようさんぼし	千差万別	せんさばんべつ	晴耕雨読	せいこううどく	四面楚歌	しめんそか	三々五々	さんさんごご	完全無欠
日先に話して他人をだましたり、ばかりにしたりする事。まさに気が付かないこと。また、言葉の上だけでも多く話すこと。	多くのものがそれぞれ違っていること。	晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。転じて、世間のわざらわしさをはなれ、のんびりと自由に生活すること。	まわりがみな敵となり、孤立すること。	三人、五人と、少人数が連れ立つて行動すること。	三日間くらい寒い日がつづき、そのあと四間にぐらい暖かい日が続くという、冬から春先にかけての気候。	過去おおよび前世の行為の善悪に応じて、報いが完全で、少しも不足するところがない。	状態や情勢がよくなったり悪くなったりすることが繰り返されること。	自分の都合のいいように考えたり、したりすること。	我田引水	がでんいんすい

四字熟語忍法帖

7

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
暗中模索	あんちゅうもさく	一言居士	いちげんこじ	一刻千金	いつこくせんきん	栄枯盛衰	えいこせいすい	共存共榮	ぎょくせきこんこう	口頭試問
暗闇の中を手さぐりするように、当てのないままに手あたりしだいにやつてみると、	何についても一言も言わずにいるのがたのひと。	わざかな言葉。	春の夜の素晴らしさは一刻が千金にも値する。楽しいときや大切なときが早く過ぎるのを惜しむ気持ちで言う。	栄えたり、おとろえたりすること。	すぐれたものと劣ったものが入り混じっていること。	敵と味方が同じ場所にい合わせること。	がやつている人より、わきで見ている人のほうでものごとのよい悪いがよくわかること。	おかげはちもく	問題	意味
							口で述べて答える形の試験。			

四字熟語忍法帖

(8)

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
一攫千金 いつかくせんきん	一騎当千 いつきとうせん	花鳥風月 かちょうふうげつ	画龍点睛 がりょうてんせい	勸善懲惡 かんぜんちようあく	起承轉結 きしょうてんけつ	喜色滿面 きしよくまんめん	疑心暗鬼 ぎしんあんき	質実剛健 しつじつごうけん	縱橫無尽 じゅうおうむじん	問題
一度にやすやすと大きな利益を得ること。	ひとりで千人の敵を相手にできるくらい強いこと。	自然の美しい景色を花・鳥・風・月に代表させた言葉。	物事を完成させるための大変な最後の仕上こげ。また、わずかな配慮から全体が引き立つことのたとえ。	善行を勧め、悪行をころしめる考え方。	漢詩の一形式である絶句の組み立て方。一般に、文章やものごとを組み立てる順序を表す。	喜びの表情が顔いっぱいにひろがること。	疑いの姿を見たりするよう。何でもないことを手なところがなくまじめで、強くたくましいこと。	行動がまわりのものや人にさまたげられないで、自由に広い範囲におよんでいること。	派手なところがなくまじめで、強くたくましいこと。	意味

四字熟語忍法帖

⑨

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①											
一 举 一 動	い っ き よ い ち ど う	枝 葉 末 節	し ょ う ま つ せ つ	森 羅 万 象	し ん ら ば ん し ょう	切 磋 琢 磨	せ つ さ た く ま	前 後 不 覺	ぜ ん ご ふ か く	朝 令 暮 改	ち よう れ い ほ かい	徹 頭 徹 尾	て つ と う て つ び	天 変 地 異	て ん ぺ ん ち い	東 奔 西 走	あ ち こ ち に 忙 しく か け ま わ る こ と	顔 を ほ こ ろ ば せ て 、 に つ こ り 笑 う こ と	問題	
こ ま か い ひ と つ ひ と つ の 動 作 や ふ る まい	と が ら 。 本 筋 に か か わ り の な い 、 つ ま ら な い 小 さ な こ	宇 宙 に 存 在 す る 、 す べ て の も の	同 じ こ と を 志 す 者 ど う し が た が い に は げ ま し あ つ て 向 上 し よ う と す る こ と	酒 によ つ た り 、 ね む け の た め に 、 そ の とき の 前 後 の こ と が ま つ た く わ か ら な い ほ ど 正 体 が 変 な く な る こ と	朝 に 出 し た 命 令 を 夕 方 に は 改 め る こ と 。 命 令 や 法 令 が 出 さ れ た と 思 う と す ぐ に 改 め ら れ て 、 より に な ら な い こ と	は じ め か ら 終 わ り ま で 、 考 え 方 や や り 方 が 変 わ ら な い よ う す	日 食 や 月 食 、 暴 風 や 台 風 、 落 雷 、 地 震 な ど 、 自 然 界 に 起 き る 異 変 。	あ ち こ ち に 忙 しく か け ま わ る こ と	顔 を ほ こ ろ ば せ て 、 に つ こ り 笑 う こ と	意味										

四字熟語忍法帖

10

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
										問題
										意味
全身全靈	ぜんしんぜんれい	前人未踏	ぜんじんみとう	大義名分	たいぎめいぶん	不眠不休	ふみんふきゅう	平身低頭	へいしんていとう	傍若無人
からだとこころすべて。	その程度や境地に、それまでだれも行きつい ていないこと。	人として守らなければならない根本的な道。 堂々とだれにでも説明できる理由。	眠りも休みもしないでしつづけること。	身をかがめ、頭を深く下げて、ひたすらあや まること。	人がいるのに、あたりに人がいないかのよう に、勝手気ままにふるまうこと。	ものが、あべこべになること。	見物をしたり、山野に出かけて遊んだりする こと。	生存競争で強者が栄え、弱者がほろびるこ と。	油断大敵	ゆだんたいてき
										気をゆるして注意をおこたると思われぬ失敗を すること。油断はおそろしい敵であるという